

教育は人づくりの原点

文学部新聞学科教授

鈴木 雄雅 (勤続25年)

一九七一年春、新入生としてキャンパスに足を踏み入れてから四十年近くなり。縁あって八

四年から学院に奉職して二十五、四半世紀経ちました。最近、学生から「東京のお父さん」と呼ばれることに抵抗もなく、教える子供が孫と感じられるようになり



院生時代の学科創立五

最初の十年は突っ走り「セブン・イレブン」と呼ばれることもありまし

五十年史の編集(〇三年)、毎年開催される日韓国際シンポジウムや学会事務局のお手伝いなど、春原昭彦名誉教授、本市英雄名誉教授の下、本学代表を意識しつつ、育てられたことに感謝しております。

大学院新聞学専攻の設立にご尽力された川中康弘教授、小糸忠吾教授らを引継ぎ、設置以来三百人以上にのぼる多士済々な修了者をほぼ知るいま、教育は人づくりの原点であることの難しさを改めて思うところです。多くの出会いと刺激に満ちた職場。創立百周年をあと数年後に迎える本学が継承する世界に羽ばたく人づくり―私たちが挑む場がここにありま

す。学会創立